

## 今後の社会教育施設がどうあるべきか

新居浜市教育委員会教育長 関 福生

### 1. 博物館の所管について

**首長部局で所管することについて特に支障はないものとする。**

博物館の機能としては、資料の収集・保管、展示利用、学習機会の提供、調査研究が想定されるが、学芸員の専門性が担保されるのであれば、所管がいずれであっても成果は上げられると考える。

新居浜市の総合文化施設は美術館と小劇場等を有する施設であるが、開設時（3年前）にいずれの所管にするかの議論を行った。結果的には博物館法の規定に従い、公立博物館ゆえに教育委員会所管という結論に至った。しかしながら運用の上では学芸員が行う展覧会と指定管理者が行う展覧会や首長部局の主催する展覧会などが併存しており、柔軟な運営がなされている。美術館以外の機能も組み込まれている総合文化拠点施設ゆえに予算や人的資源などの確保の上でも首長部局所管の優位性が語られ、多様な領域の活動を受け容れる上でもネットワーク構築が図りやすいと思われる。

### 2. 公民館の所管について

**学習と活動の循環が確保できるのであれば、教育委員会所管に固執する必要はなく、地域の実態に応じて、首長部局の所管にしても支障はないものとする。**

（現状認識）

- （1）すでに公民館の実態はコミュニティセンター（貸館機能重視）に移行しているものも多いが、その際に社会教育が培ってきた学習とその還元の機会としての活動を失っている事例も生まれている。また、その反省を踏まえ、公民館へ戻そうという事例も北海道などには生まれている。
- （2）草創期の公民館に求められた民主主義の訓練所、産業振興の原動力や郷土振興の機関としての役割こそがいま求められている地域も全国には多いのではないかと。人口減少社会における地方創生の拠点として原点回帰が期待されているが、その一方で都市部での公民館の存在意義をどこに求めていくかが見えてこない。今後は人生百年時代に向けた学習や人間関係を構築する生きがいづくりを目指すべきではないか。
- （3）昭和の時代の公民館が「社会教育」、平成の時代は「生涯学習」、これからの新時代の基軸が今こそ必要ではないか。文部科学省の組織機構改編で生まれる地域教育（学習）、共生社会教育（学習）なのか、住民自治的な地域課題解決型の学びと活動になるのか議論が待たれる。
- （4）地域課題解決型学習が社会教育の領域に位置付けられたことで首長部局の様々な行政課題（環境・子育て支援・高齢者福祉・防災など）に関して、一定地域内の住民を対象とした活動拠点としての公民館への期待が高まっている。住民自治（地域運営組織・小規模多機能自治）を標榜する自治体では公民館が蓄積してきたソーシャルキャピタルへの期待が高まり、首長が自らの所管に置こうとする動きもみられる。今後、地縁コミュニティが衰退していく中、公民館的な機能を必要とするにもかかわらず、公民館以外の新しい仕組みを指向する自治体も多いジレンマをどう整理していくべきか。

- ( 5 ) 地域学校協働活動やコミュニティスクールなどを推進する中で、学校を地域学習の拠点としようとする動きが生まれており、社会教育が低迷している地域では公民館の存在そのものが問われている。
- ( 6 ) 公民館職員に求められる職務能力や資質は従前とは大きく変わってきており、機関車型で引張るリーダーシップではなく、地域住民の活動をファシリテートすることで主人公にさせる支援型のリーダーシップが期待されている。NPO はじめ様々なアクターの人材を活動に巻き込むことが求められている。また、様々な機関とのネットワーク構築を求められるが、教育委員会はその調整機能が脆弱なことが多い。今後、社会教育士が増えたときにどのような形で活躍の場が確保できるのか不安を抱えている。

( 今後の目指すべき方向性 )

- ( 1 ) 公民館が培ってきた良き地域との信頼関係を維持すること。( ソーシャルキャピタルの維持 )
- ( 2 ) 個人の要望と社会の要請のバランスを視野に置きながら、公的な教育として行うべきものを見極めていく必要がある。( 地域課題解決学習と生きがいづくり )
- ( 3 ) IoT や AI の進化に乗り遅れることなく、時代の流れに取り残されない。( 都市と地方の格差是正、同じような学習機会が提供できるよう ICT の活用充実 )
- ( 4 ) 高校生をはじめ、これまでターゲットから外れていた若者層が主人公として活躍できる機会を提供する。( お客さんではなく当事者として )
- ( 5 ) 生活と密着した活動への見直し、人口減少地域における地域維持機能の拡大 ( 営利活動も含めて )
- ( 6 ) コミュニティの衰退を止める最後の砦としての公民館活動を模索する。( 何のために、喜び、幸せ )

### Learning & Actionセンター的機能

- 学習することと実践活動を結び付けることができる拠点施設を目指す。アクティブラーニングを子どもから大人まで一緒に取り組むことができる拠点施設。

### ESD(SDG s)推進センター的機能

- 地域社会の持続可能な発展のために何が必要なのかを住民が主体的に考え、対話を通じてより良い地域づくりを推進していく拠点施設

### 地域活性化センター的機能

- 山村や離島など地域社会の維持そのものが課題になっている地域においては、生業や共助の仕組みづくりを担う活動が求められる。